



米價漸落 昨日の共販 二十七錢下落

### 村出身の若松中佐

#### 赤井 名譽の負傷する

昨春悲壯な別れを告げた  
病祖母は未だ病癒えず

昨年三月満州守備の爲め同地  
に於て第〇師團騎兵〇聯隊  
長若松晴司中佐は石城郡赤井  
村大字西小川字平久田生れ警  
中二年修業後仙台地方幼年學  
校出身で公主嶺に駐劄中反吉  
林軍討伐に去る三日方正の西  
方タツイザ附近の戦ひで敵彈  
の爲め左腕上腕を貫通銃創し  
たが情報を知り生家は病祖母  
一人を新宅に出た令妹が世活  
してゐる祖母は中佐渡満當時  
からの病氣で其の際悲壯な別  
れを告げ並居る人々を涙せし

### 平町々是調査會が 合併を見込む部落

#### 隣接四ヶ村の四百七十五戸 何れも密接の交渉あるもの

平町の町是調査會が期成案を  
立てた數項の中に於て同町多  
年の懸案である附近部落の合  
併は左記八委員によつて極力  
此の實現に當つてゐるが右合  
併を見込む部落は  
好間村(川中子、大館)一三  
〇戸、平窪(鯉岡、大室、  
幕内)五五戸、神谷(向鎌田  
(六〇戸、内郷(小島、御台  
境)二三〇戸、  
の計四百七十五戸であつて大  
云はれてゐる、

### 大町の獨立に 有志協議

#### 有志協議 七日午後七時 新屋新宅方で

平町南裏の新街路通りに於け  
る大町附近は近頃非常な發展  
を遂げ、

### 兒童の就學獎勵金 平町では八六名へ

#### 町の交付一七四圓九六錢へ

本縣に於ける昭和六年度の調  
査に係る恩賜兒童就學獎勵金  
は三市三十二町二百四ヶ村に  
對して二萬五五百圓の交付に決  
し、濱通りでは石城一四二六圓  
六三錢、双葉九四一圓二九錢  
相馬二七〇圓四七錢を交付  
されたが平町に於けるものは  
は縣から百七十四圓九六錢  
で同町では之れに百七十五圓  
二十四錢を加へる合計三百五  
十二圓四錢である、

### 花の平に聯合檢閲 消防組員四千余名

#### 來る十五日に舉行する

平町警署管下に於ける四町十  
六ヶ村(遠隔の爲三坂、深波  
を除く)の春期聯合消防檢閲  
は本月十七日平町に於て舉行  
に決した尙ほ本年の同檢閲は  
適々産業博覽會の開期中なの  
で、

### 米價漸落

石城販賣利用組合經營の平際  
前農業倉庫に於ける昨五日の  
依米共同販賣は出荷僅かに二  
十五俵で目下米價は漸落の爲  
め商人側に買氣薄く競争入札  
の結果は平町材木町永瀬富彌  
古鐵治町久保木林之助兩商店  
の同額入札で落札したが相場  
は左記の如く去月二十日の共  
販に比し一俵二十七錢の下落  
である  
五等八圓二十一錢、等外八  
圓一錢(以上)

### 警視會總會 準備協議

#### 警視會總會 準備協議 明七日警署 警察に於て

平町警署管下に於ける元警察關係  
官吏から成る石城警視會は明  
七日午後三時警署會議室に役  
員會を開き本春の花期中に於  
て總會(百餘名)を開催する日  
取り其の他を協議すると  
着任する

### 三丁目裏の堀中に トラツクの横倒れ

#### 昨夜七時過ぎの事故

平町の三丁目南裏堀端通り飲  
食店第一新橋屋前間道に於て  
昨五日夜七時頃木材を積積し  
たトラツクが通行の際堀の右  
岸が崩壊したので附近の人々  
が驚駭を上げる間もなく前記  
のトラツクは堀の中に横倒れと  
なつて墜落し大騒ぎの末同八  
時頃引揚げたが右は石城郡上  
遠野村の上遠野字根岸鈴木子  
之吉の營業車で運轉手は同郡  
入遠野村入遠野生れ當時湯本  
所なく)咲いたとは一茶なら  
では云ひ得ぬ獨特の表現法で  
ある  
紅梅に干して置くまいか  
あるのではあるまいか  
紅梅に干して置くまいか  
あるのではあるまいか  
あるのではあるまいか  
あるのではあるまいか

### 米價漸落

石城販賣利用組合經營の平際  
前農業倉庫に於ける昨五日の  
依米共同販賣は出荷僅かに二  
十五俵で目下米價は漸落の爲  
め商人側に買氣薄く競争入札  
の結果は平町材木町永瀬富彌  
古鐵治町久保木林之助兩商店  
の同額入札で落札したが相場  
は左記の如く去月二十日の共  
販に比し一俵二十七錢の下落  
である  
五等八圓二十一錢、等外八  
圓一錢(以上)

### 少女性にも健氣な風

#### 小學生に看護婦志望 結構な現れたが求人 ないので紹介所が大頭痛

平町職業紹介所は目下小學校  
卒業者の求職熱に努めてお  
るが本年の新傾向とも見るべ  
きものは従來平町小學校出  
のもの等に殆んどなかつた看護  
婦見習の希望が多く現在同町  
外内郷、四倉、好間の各校か  
ら十三名の同志望に上つてゐ  
るが當人の意向を質した結果  
によると何れも家計の手助け  
又は將來有望の仕事であるか  
らと云ふに一致してゐるので  
斯した幼い女性にすら働かね  
ばならぬと云ふ氣の奮ひ立つ  
た現れは喜ばしい事ではある  
が求人がないので頭痛の種子  
になつてゐる

### 着任

#### 着任 支所長

平町穀物検査支所長木名瀬宏  
氏は今回の行際引退したが  
當分同町に止まり静養の旨で  
尙ほ後任は中村支所管内原の  
町出張所主任農林技師松本己  
之次氏に決し同氏は今明中に  
着任すると

### 屠畜數減る

#### 屠畜數減る

平町場に於ける三月中の屠畜  
數は牛七、豚一三〇、馬二六  
計一六三頭で前月及前々月よ  
り一八頭を減じてゐると

### 土砂崩壊し 女、壓死

#### 土砂崩壊し 女、壓死

内郷村の宮で  
石城郡内郷村の宮字平太郎居  
住實業日雇業鈴木さと(〇〇)  
は去る四日前七時頃同村請  
負業瀧澤鶴松方の入夫に雇は  
れ村内字蛭子一六地内プール  
築造工事に働いてゐたが高さ  
七尺余の土砂崩壊し其の下敷とな  
つて壓死した

### 稲田元場長 今日歸郷

#### 稲田元場長 今日歸郷

後任伊藤技師  
は今日歸郷  
石城郡谷村の本縣農試分場  
長稲田元場長は今日事情上退職  
したので昨六日午後五時平町  
谷口樓に同氏の送別會を開き  
今七日午後二時平際出發で多  
數の見送りを受け郷里茨城に  
歸つたが郡山縣農試本場から  
前記分場長に轉任の技師伊藤  
孝三郎氏は今日中に着任す  
ると

### 暗香浮動

#### 暗香浮動 満壽莊主人

草庵も貧窮庵主も貧窮をう  
して庭前の梅も亦貧窮其貧窮  
な梅のみならずしさを(よん

### 暗香浮動

#### 暗香浮動 満壽莊主人

草庵も貧窮庵主も貧窮をう  
して庭前の梅も亦貧窮其貧窮  
な梅のみならずしさを(よん

### 暗香浮動

#### 暗香浮動 満壽莊主人

草庵も貧窮庵主も貧窮をう  
して庭前の梅も亦貧窮其貧窮  
な梅のみならずしさを(よん



本縣農試場 守野助手  
前日に於て掲げた第三表の  
試験成績は

標準(無處理)發病枯死率二  
二四〇つ、發病率五六、〇  
パーセント  
備考、第二表、第三表共に  
愛國二〇號を用いたもので  
發病枯死率に於ける數字  
は他の病害或は虫害にても  
枯死せるものもあるも、藥劑の  
効果も考慮する上に於ては  
差支ひなきものと認め全部  
之れに含ましめた

第三表の如く發病時に於ける  
三斗式砂糖ボルドー液(一  
黒砂糖五十匁)を平常りに  
三合撒布したるもの或は零  
、二パーセント硫酸銅液の  
種子消毒、或は灌水上に撒  
布すること最も有効であつ  
て此れに關する試験は今後  
の機會にお知らせすること  
に致したい

一、品種によつて其の發病  
程度に差を生ずるものなる  
を以て抵抗性の品種を撰ぶ  
ことも大切である、之れが  
細目に宜るものも向後に於  
て述べるとするが愛國二〇  
號種は殊に本病に弱いもの  
とされてゐる(終り)

病の最新藥  
美神 一過分四〇〇  
淋藥 二過分八〇・五  
代理店  
中山野邊藥局

平町 市原醫院  
内科 小兒科 梅毒 淋病  
電話 一四一四番

ガソリン モビール油 日本石油株式會社  
特約販賣  
油問屋 關内商店  
支店 郡山市 電話 八二二三  
支店 茨城縣 關本驛前  
電話 長平 七三三  
油槽所 出張所  
平町四丁目 郵便局前  
電話 四六六一 長話電 平城 警

赤玉印 フトン袋  
御類似品有赤玉印に注意  
を願います  
松印 夜具五入枚  
竹印 夜具二枚入  
梅印 夜具貳枚入  
三重蓋バンド付  
四圓五拾錢  
各種陳列目下  
賣出し中!

平町 市原醫院  
内科 小兒科 梅毒 淋病  
電話 一四一四番

平町南町 大森醫院  
内科 小兒科 醫學士 大森 勇  
電話 二五八番

赤玉印 フトン袋  
御類似品有赤玉印に注意  
を願います  
松印 夜具五入枚  
竹印 夜具二枚入  
梅印 夜具貳枚入  
三重蓋バンド付  
四圓五拾錢  
各種陳列目下  
賣出し中!

平町五丁目 山野邊藥局  
幾多の治療劑中超然として偉  
効靈能を有するものは獨り本  
藥のみ  
肺病、肋膜炎、肺炎カタル等  
定價(二圓、四圓、六圓)

模範 裁縫 高島屋洋服店  
冬服の 御用命は 高島屋へ  
新柄着荷  
平町驛前 電話 三八六番

お様子方入學進級の御用意  
帽子 靴 下靴 ヤルツ  
總革製 七十八錢  
九十錢  
一圓卅錢

納骨堂 (銅碑)  
高三二尺以上 代價七十圓以上  
一、納骨堂式銅碑は前面の定紋を左右に廻轉せば扉が  
開閉式になつて中にて戒名か又は遺骨過去帳等を  
安置し得る様になつて居ります  
一、當工場製作の納骨堂式銅碑は多年苦心研究の結果  
考案したもので且美術的鑄造品であります  
一、青銅の効果は申す迄もなく古來より鑄造物を見  
ても明らかで何千年の昔鑄造した奈良の大佛の如き  
細字の彫刻も決して腐蝕損の憂なく永久保存に堪へ  
るのであります  
一、當工場は是れを極く皆様に御褒め致し價格は奉仕  
的實費で多量製作致します  
一、型は如何なる設計にても御注文に應じますから御  
遠慮なく御照會を願います  
福島縣平町七丁目  
工藤鑄造所

ソーダファンテン  
生ビール開始  
ビンヅメではありません  
レストラン サロン  
電話 三五二番

煙突は 朝日  
石綿セメント製  
朝日煙突  
絕對に はせあひない!!  
経済的で 中央の心配がない  
金屋商店

大蒲焼 仕出し  
壽司 田町 魚榮  
電話 四二四番